

# R3 SE推進事業 国語の授業づくりモデル小学校 取組み概要 泉佐野市立日根野小学校

**取組みテーマ：高めよう 伝える力！～自分の考えを豊かに表現できる力 目的に応じて説明できる力の育成をめざして～**

## 背景・取組みの方向性

令和2年度までは研究主題を「高めよう！書く力」とし、書く力の育成をめざして、授業づくりのポイントや方向性を「日根野小学校授業ハンドブック」にまとめ学校全体で授業改善に取り組んできた。

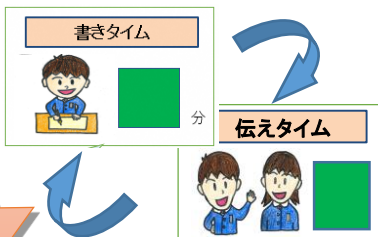
その結果、児童アンケートの「自分の考えを書く場面がある」「自分の考えの理由がわかるように、気を付けて書いている」などの「書くこと」の項目において、肯定的な回答の割合が上昇した。一方、「自分の考えやその理由を言うことがある」、「自分の考えを発表するときに、うまく伝わるように工夫して発表している」などの「話すこと・聞くこと」の項目においては、肯定的な割合が低く、課題が見られた。

そこで、令和3年度は、研究主題を「高めよう 伝える力！～自分の考えを豊かに表現できる力 目的に応じて説明できる力の育成をめざして～」と設定し、これまで積み上げてきた『書く』の取組みをベースに、『話す』を中心とした伝える力を高められる授業づくりの研究を進めていくことにした。

## 具体的な取組み① 伝える力を高める授業づくり

### ・授業内の「書きタイム」「伝えタイム」

全ての教科で自分の考えを書く「書きタイム」  
自分の考えを伝える「伝えタイム」を取り入れることで、「書いたことをもとに話す」活動を意識した授業づくりを行っている。



### ポイント

- ① 1時間の授業の中で、「書きタイム」「伝えタイム」を繰り返しながら考えを深めていく。
- ② 右図のようなカードを黒板に掲示することで視覚的にわかりやすくしている。

### ・単元ふりかえりシートの活用

「単元名」「単元目標」「毎時間のめあて」「毎時間の子どもふりかえり」を1枚にまとめた単元ふりかえりシートを活用し、子ども自身が成長や課題を確かめることができる。

単元名	単元目標	毎時間のめあて	毎時間の子どもふりかえり
国語	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力
算数	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力
理科	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力
社会	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力
総合	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力
英語	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力
音楽	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力
体育	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力
道徳	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力
外国語	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力
芸術	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力
特別支援	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力	自分の考えを豊かに表現できる力

(別添資料①)

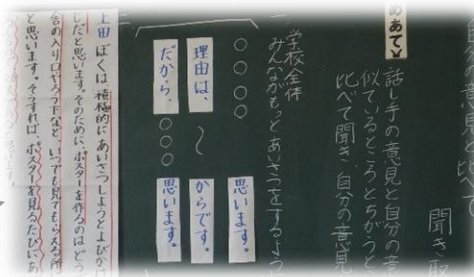
## 具体的な取組み② 表現力をみがく取組み

### ・「書きチャレ」

大阪府教育委員会作成の「ことばのちから（活用シート）」を活用した授業を月1回程度全学年で行っている。「書きチャレ」で取り上げる内容は、学校全体で重点とする領域を共有し、①既習事項のさらなる定着を図るためのもの、②今後学習を進める上で、身に付けておきたいスキルなど、学年間で十分話し合っ、活用するシートを決めている。

### 【6年生の実践】

話し手と自分の意見の共通点と相違点に注意して聞き、自分の意見を発表する授業



### ・小学生新聞の活用

4～6年の児童を対象に、朝の読書の時間を使って小学生新聞を読む活動を行っている。さまざまな文章表現に触れたり、記事を要約したりする経験を積むことで、総合的な国語力の向上を図る。

## 取組みの成果と課題、今後に向けて

**【成果】**国語だけでなく他教科においても単元ふりかえりシートを活用することで、学習後に自分の学びをみつめることが習慣化した。また、自分の得意なところや、理解が不十分だったところなどを自分で確認することができ、次の学びにつなげることができた。

**【課題】**児童アンケートの「話すこと・聞くこと」の項目では、肯定的意見の割合が高かったが、国語に対する苦手意識を持った児童が依然として多いことがわかった。

### 【今後に向けて】

系統性をさらに意識し、学年間の段差のない授業づくりをめざす。  
“安心して話せる”、“相手のことをもっと知りたい”と思える集団づくりと授業改善に取り組む。

### 【児童アンケートの結果】

「自分の考えを伝えるとき、相手や目的などを意識して伝え方を工夫している」・・・R3.12 81.8% (R2.12 81.9%)  
「目的に応じて自分の考えを話したり、必要に応じて質問したりしている」・・・R3.12 76.7% (R2.12 69.7%)  
「国語の授業が好きだ」・・・R3.12 69.8% (R2.12 53%)